



【ポラツズマブ ベドチン+BR療法について】
(ポラツズマブ ベドチン+リツキシマブ+ペンダムスチン) 2~6コース目



☺ **お薬の名前と治療のスケジュール**(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強が残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
アセトアミノフェン錠 (カロナール)	アレルギー様 症状を抑える 薬です	1日1回 内服		1回2錠																			
ジフェンヒドラミン錠 (レスタミン)		1日1回 内服		1回3錠																			
グラニセトロン注 デキサメタゾン注 (デキサート)	吐き気止めです	30分																					
リツキシマブ注	抗がん剤です	3~6時間																					
ポラツズマブ ベドチン注 (ポライビー)	抗がん剤です	30分																					
ペンダムスチン注 (トレアキシン)	抗がん剤です	10分																					

☺ **治療による副作用**

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
自覚症状	アレルギー様症状																							
	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																							
	食欲不振・吐き気																							
	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																							
	血管痛・静脈炎																							
点滴の途中に、注射部分やその周りに違和感や痛みなどがあればお知らせください。																								
手足のしびれ																								
手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																								
下痢/便秘																								
【下痢】便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出る時はお知らせ下さい。【便秘】水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節した方が良いので、お知らせ下さい。																								
検査値	白血球減少																							
	感染しやすくなりますので、手洗いうがいをご心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																							
	赤血球減少(貧血)																							
	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																							
血小板減少																								
出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																								
肝機能低下																								
体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																								

皮疹(皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

実際の投与スケジュールと異なる場合があります。本資料は参考としてお使い下さい。
 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター薬剤部(代表)052-991-8121